

# にぎわい通信



九州からは唐津港で開催されました、「Castlebay 海の祭典 2010」と海岸に打ち寄せられる漂着物について、ご紹介させていただきます。

## 唐津港

### 「Castlebay 海の祭典 2010」開催！

平成22年10月17日（日）、最高の秋晴れのもと、「Castlebay 海辺の祭典 2010」が開催され、キャッスルベイの魅力凝縮した秋の海岸線に1,000名を超える方々が来訪されました。

これは、平成20～21年度に実施した内閣府の地方の元気再生事業「唐津の海辺の魅力を活かした観光振興事業」の想いを引き継ぎ、港湾関係団体・NPO・地域住民等と国・県・市で構成された唐津みなとまちづくり懇話会が「日本一豊かな海辺都市・唐津」を目指した取り組みの一環として行われたものです。

『歩く。遊ぶ。食べる。観る。聴く。五感が浮かれる、秋の海岸線。』



10時の開幕とともに、思い思いの秋の一日の満喫がはじまりました。

**ウォークラリー**では、日常的な海岸線風景である海辺の散歩に、特別な一日となる要素をプラス。普段は一般開放されていない九電唐津発電所や唐津市浄水センターなどの海岸線をこの一日限定で開放していただきました。



また、歩いて渡ることできない水路に作業台船を使った仮設の橋を設けていただくなど、たくさんの協力を得て、連続した海岸線を迎える片道5キロのコースが誕生。海から海岸線を迎える屋形船を利用するコースも選択可能で、ウォークラリーには約200名が参加されました。



水路に架かった仮設歩道橋



唐津城もラリーポイント

**ヨットやバナナボート、シーカヤックなどのマリンスポーツ体験**は、



シーカヤックの体験

日本ヨット界初のオリンピックメダリスト重選手をはじめ、国内外のヨット大会で優秀な成績を収める選手を多く輩出し、オリンピック選手強化育成施設として全国でも名高い佐賀県ヨットハーバーで開催。1回100円で体験できるとあり、500名を超す参加者が訪れました。一流選手たちの安全安心なサポートのもとに、子供たちは海に興味を示し、波に歓声をあげ、風を感じながら、

秋の海辺に笑顔が絶えることはありませんでした。



クルーザーヨット 艇内一般公開



ヨットの体験

驚くほど人気があったのは**屋形船と、船で行く無人島体験。**

ウォーキングやマリンスポーツの体験に参加するのが難しい小さなお子様連れの家族が「子供を船に乗せてあげたい。」と多数参加されました。出発前には緊張した面持ちも見られた子供たちも、穏やかな波間を走る船を体験し、桟橋に戻ってきたころには「もう一度乗りたい」という声も聞こえるほど楽しんでくれたようです。



人気の屋形船☆



無人島体験へ出発！！

地元力による海辺都市・唐津の賑わいづくりは、毎年1月1日午前0時の「新年汽笛一斉吹鳴」から始まり、「みなと松原植樹祭」、無人島「鳥島」のお祭り、「虹の松原トリアスロン」、「海のカーニバル in からつ」、「九州花火大会」、「唐津湾イカダ大会」、「唐津海上運動会」、「みなとオアシス唐津港まつり」、「唐津お魚まつり」などなど多彩に催され、また、唐津湾では四季を通してヨット競技が繰り広げられています。

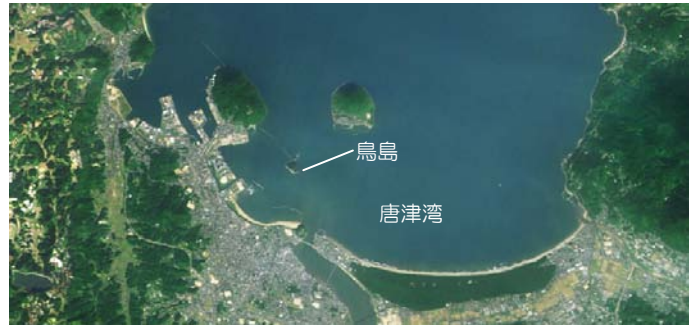
「この時期に唐津湾に来たらこんなことをやっている！」と覚えていただけるような、みなとまち唐津ならではの賑わいづくりが続けられています。





## 海岸に打ち寄せられる漂着物について

10月17日（日）、に、唐津湾にある鳥島において、鳥島を語ろう会による「とりしま自然体験隊秋の清掃事業」が行われました。清掃事業では、以下の漂着物が確認されました。



韓国：ペットボトル（済州島と思われるもの含む、洗剤容器含む）2個

中国：ペットボトル（台湾と思われるもの含む）1個

韓国：漁具、ブイ3個

韓国：20リットルビニール缶0個



参加者：大人70名、子供30名

集まったゴミ：合計55袋

その内主に発砲スチロールが入っている袋：44袋

その内主に漁具その他が入っている袋：6袋

その内主にペットボトルが入っている袋：3袋（60個）

その内主にガラス屑、鉄屑等の袋：2袋

注射針（器）：1個

編集・問い合わせ先

日本海・にぎわい交流海道ネットワーク 事務局

国土交通省九州地方整備局 港湾空港部港湾計画課

Tel. 092-41-3358 FAX 092-418-3037